

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38.4	○災害対策 ・令和6年3月時点で、各種災害時のマニュアルを整備し、BCP(自然災害・感染症)も策定済である。定期的に各種訓練が実施できるように予定は立てているが、その日の人員の関係等で延期、中止となることもある。すべてのスタッフに研修、訓練が行き届いておらず、理解や実践力にスタッフで差がある状況がある。また、策定したBCPの改良も訓練を行いながら、より実用的なものにしていく必要がある。	①自然災害・感染症発生時の対応・対策の強化。	①BCP(自然災害・感染症)の研修・訓練の定期的な実施と改良。 ②スケジュール通りに訓練を実施し、実施できなかった場合の予備日を設け、全スタッフへの周知と理解を図る。	12ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング ・事業所で決めた期間内(6ヶ月に1度)で、計画作成が作成できず、遅れている場合がある。また、状態変化がみられた入居者様に対して、すぐに現状にあった介護計画書への変更ができていない場合もある。 ・作成した介護計画書について、内容の理解とその実践が支援に十分に反映できていない場合がある。	①介護計画書、モニタリングの作成が滞ることなく、入居者様の現状に合った介護計画書の作成を行う ②介護計画書の更新期間、モニタリングの期間の適切な見直し ③スタッフが介護計画書内容を理解し、意識して支援に繋げることができる環境を作る	①介護計画書、モニタリング作成が遅れることがないように、介護計画書更新期間、モニタリングの期間の適切な見直しと、計画作成担当者の計画作成に充てる時間の確保に努める ②入居者様のアセスメント、介護計画書の作成について、計画作成担当者のみでなく、全スタッフ協力して、積極的に取り組める環境を作る(アセスメント表の記入、計画内容のアイデア出し等) →作成に積極的に関わることで、意識向上に繋げる	12ヶ月
3					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。